

木造五大明王像 5 軀

木造五大明王像

もくぞうごだいみょうおうぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

所有者

宗教法人 宝珠院(ほうじゅいん)

所在地

大阪市北区与力町 1-2

紹介



木造五大明王像(宝珠院)

宝珠院の本堂に安置され、不動明王は像高 92.4 センチメートル、大威徳明王は像高 38.7 センチメートル、他の三明王の像高は約 70.0 センチメートル、玉眼を嵌入する古色の寄木造像である。軍荼利(ぐんだり)明王の台座に、17 世紀後半から 18 世紀前半にかけて活動した大坂仏師、宮内法橋(くないほつきょう)の銘記がある。不動と他の明王は彫り口が異なり、宮内法橋が制作したのは、不動をのぞく四明王で、不動の制作はさらに古い。市域に伝来する、江戸時代の在銘彫刻の貴重な一例である。